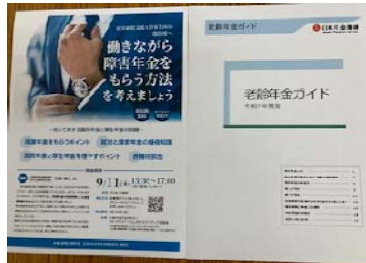

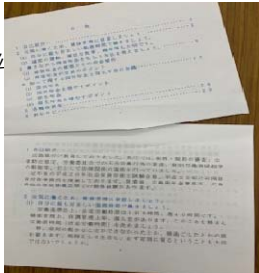


就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	self-A・広島 海 五日市	事業所番号	3410212090
住 所	広島市佐伯区五日市駅前 2 - 1 5 - 2	管理者名	鎌田 憲宗
電話番号	0 8 2 - 2 0 5 - 9 6 1 4	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>1 研修名 令和7年度A型事業所連絡協議会研修会</p> <p>2 日時 令和7年9月11日（木曜日）15時00分～</p> <p>3 演題 「働きながら障害年金をもらう方法を考えましょう」 石岡経営労務事務所 特定社会保険労務士 石岡博之氏</p> <p>4 内容 1基礎年金の種類 2年金の手続き 3申請準備 4年金の受給と就労の意義</p> <p>5 参加者 会場：7名（事業所参加1名）リモート9名（事業所参加1名）</p> <p>6 研修名 障害を持たれた方の知識及び能力向上に関する利用者周知研修</p> <p>7 実施日 令和7年10月17日（金）</p> <p>8 演題周知者 福祉事業部部长 藤中</p> <p>9 参加者 利用者：7名 職員1名</p> <p><目的></p> <p>年金を取得することで安心して、一般就労にチャレンジでき、又働きながら年金を受け取ることで安定した就労生活を送ることができる。。 こういった情報を知らない。無理だと諦めている利用者の方もおられる。支援者自身が取得に関する研修を受け、必要と思われる利用者の方に分かりやすく情報を提供することを目的として研修を受講するとともに 周知研修を実施した。</p> <p><成果></p> <p>成果：年金取得の意志を示された方が1名及び手続開始者1名あったことが、成果と思われる。</p> <p>課題：すでに取得されている方や受講者（利用者）で理解度が異なることから、全体研修とならなかった。研修テーマの再検討が必要。</p>	<p><活動の様子></p> <p>【9月11日 A型事業所連絡協議会の内容と資料】</p>  <p>【周知研修の様子】</p>  <p>【講師資料】</p>  <p>無断転載禁止の為資料非公開</p>
--	--

講師からの意見

国は、社会福祉 社会保障及び公衆衛生の向上、増進に努めるように規定しています。しかし、実際は生活していく上では十分ではありません。可能な限り自助努力が求められる社会になっています。無理なく働いて、年金の理解を深めて、より良い生活を目指してほしい。
「自分の為 家族の為 社会のために」

連携先企業（担当者）

特定社会保険労務士 石岡 博之 氏

利用者からの意見・評価

意見 アンケートより、
年金は、良く分からないことも多い。申請することも難しいので、手助けを受けながら考えていきたい。2人勉強ができて良かったと思います。